

令和3年度 旭美容専門学校 第一回学校関係者評価委員会

会議報告書

日時： 令和3年5月24日（月曜日） 10：00～
場所： 旭美容専門学校 会議室 電話059-228-2264
参加者： 杉田真一委員長、吉村 太委員、山端 公喜委員
長島 正美委員、中林 巳佳委員
(学校より) 長谷川雅敏校長 河村久美教務部長 (司会)中尾孝子事務長

報告資料： 資料1 [旭美容専門学校関係者評価委員会] 自己点検評価表
資料2 [学校関係者評価 評価記入シート] 教育重点項目
別表1-3

1. 開会 配布資料の確認 (司会)

2. 校長挨拶

本年度、第一回学校関係者評価委員会参加へのお礼と委員会活動の成果として学校の業務改善につながったこと、また、国の修学支援金制度の認定校になれたことで経済的に厳しい世帯の学生が手厚い支援を受けることができたことと報告、感謝を述べた。

3. 議長の選任 杉田 真一委員長を議長に選任。ご挨拶の後、議事に入る

議 事

1) 令和2年度事業報告書、学生アンケート、自己点検・評価の結果報告について

河村教務部長が別紙報告資料により令和2年度の学園事業について報告、続けて学生アンケート報告の結果、自己点検・評価結果について3月に行われた学内の自己点検・

評価委員会で話し合われた今後の改善策の部分を中心に説明、その後、議長が各委員に意見を求めた。

意見 山端委員「退学者が多いのではないか?理由を知って対策を」

教務部長「個々の理由を再確認し再発防止につとめる」

校長 「退学防止班を作り心のケアに取り組んだが未だ退学者はある。今年度は、さらにこの仕事を好きになれるよう、学生たちにとって興味深い実習課題から始めるようカリキュラムを改変したところ、5月24日現在、退学・休学者は出ていない」

意見 吉村委員「美容業界に対して離職率の高い業界といった認識が未だにあるように思う。本校のこうした(キャリア教育に関する)取り組みを説明して、変わってきている事を説明すべき。コロナ禍ではあるがサロン協力会には各地区に幹事があるので手分けして高校訪問し説明してはどうか?」

「コロナ禍ではあるが学生たちには今しかできない経験や飛躍するチャンスはできるだけ与えてやってほしい」

中林委員 「コロナ禍の中、沢山の行事が工夫され実施できたところは評価できる」「学生アンケートに学生達の率直な意見が書かれているように見える。先生方の熱意を感じる。」「しっかりと挨拶をたくさんの学生の皆さんからしていただいた」

意見 長島委員 「修学支援制度は素晴らしい、こういった制度で、どう広報しているのか?もう少し具体的に説明をききたい」・・・校長が説明
『多くの人にってもらい業界へ』
「通信生が減っていること、特に美容室勤務コースが減っている部分は美容業界へのアピールがもっと必要」

意見 杉田委員長「コロナ禍の中、将来に不安がある中でも、前向きに取り組む学生の背中を後押しする制度を持っていることに感心する。私の業界では、接客を任せる人材と育てるために半年程はほぼマンツーマンで人材育成を行なっている。新人達は社会人になって初めて気づくことも多いと思う、学生のときにこんなことをやって置いて欲しいということもある。学校は、今後更に受け入れ企業との連携・情報共有を深めてい

くべきでは?OBの声を活かすべき。

2) 学校関係者評価の判定(評価)

委員長は各委員に別紙評価表に記入を促し、記入ご提出いただいた。

結果は別紙

- 3) 議長より 皆様のご協力のおかげで無事、令和 3 年度第一回目の旭美容専門学校
学校関係者評価委員会の議事を終了することが出来ました。それでは以
後は司会者をお願いします。

- 4)事務局より 杉田議長様ありがとうございました。連絡事項でございます。
今後ご連絡は Mail でさせていただきます。次回会議は令和 4 年 3 月 14
日午後 2 時より行います。

4. 閉会 これを持ちまして第一回「旭美容専門学校 学校関係者評価委員会」
を閉会させていただきます。ありがとうございました。